

Yahoo!ニュースにおける「こたつ記事」の特徴分析

○合田優希 (Yuki Goda)、藤代裕之 (Hiroyuki Fujishiro)

Keywords : フェイクニュース、こたつ記事、ニュースの信頼性、ニュース制作過程

1 目的

本研究の目的は、ネットニュースの信頼を低下させる要因である「こたつ記事」の特徴を明らかにすることである。フェイクニュースが社会的に問題となり、ニュースの信頼性が求められている。「こたつ記事」は、コンテンツとしての体をなしておらず、低品質な記事は民主主義の質の低下につながる(鳥海・山本, 2022)、フェイクニュースは「こたつ記事」で生成されており、その根絶が必要である(藤代, 2021)との指摘がある。しかしながら、「こたつ記事」の定義は曖昧であり、人々が「こたつ記事」か否かを見分けることは困難な状況である。「こたつ記事」を見分けられるようになると、自身の接触しているニュースの信頼性を判断できるようになる。そこで本研究では、Yahoo!ニュースに配信されている記事を対象に、「こたつ記事」の特徴の分析を試みた。

2 方法

分析対象の記事は、Yahoo!ニュースのトピックスの主要を除く、国内、国際、経済、エンタメ、スポーツ、IT、科学、地域の計8分野の1週間分である。2022年9月24日(土)から9月30日(金)まで、トピックスに掲載された記事のタイトル、本文、配信元の媒体、などを目視で収集し、記事の特徴分析を行った。Yahoo!ニュースを選んだ理由は、インターネットでニュースを見る場合にアクセスするのはヤフーなどのポータルサイトが最も多いこと(新聞通信調査会, 2021)、トピックスは編集部が選ぶ重要ニュースが掲載されており、アルゴリズムに影響されず多くの人々が接触すると考えられるからである。

3 結果

分析の結果、テレビや通信社がニュースとして報道していたり、芸能人がTwitterやInstagramで発信している情報を基にしたりして記事が作成されている、発信元が明記されていないネットの声や反応が書かれている、などの特徴があることが分かった。

4 結論

本研究により「こたつ記事」の特徴を明らかにしたことで、ネットニュースの中から「こたつ記事」を見分ける手がかりを得た。引き続き、記事の収集時期やポータルサイトを変更して「こたつ記事」の特徴を分析していく。

【主要参考文献】

鳥海不二夫・山本龍彦, 2022, 『デジタル空間とどう向き合うか 情報的健康の実現をめざして』, 日経BP 日本経済新聞出版社

藤代裕之の編著, 2021, 『フェイクニュースの生態系』, 青弓社

公益財団法人新聞通信調査会, 2021, 「第14回 メディアに関する全国世論調査」